



市制100周年記念プラネタリウム番組「かわさきの星空100年」公開企画

かわさきと宇宙 100年の出来事

100年を
一緒に
ふり返ろう!



「かわさきぶりん」
かわさき宙と緑の
科学館のキャラクター

1924年7月に川崎市が誕生してから100年。

川崎市が発展していく間、宇宙ではどんな事があったのでしょうか?

かわさきの
100年前の星空
(1924年7月1日午後9時)



1923年

世界初の
プラネタリウム
が誕生



1928年

星座が88個
決まる

1961年

ガガーリン、
人類初の宇宙飛行
「地球は青かった」

1924年

川崎市誕生

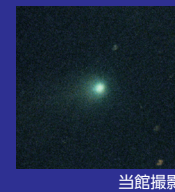
100年前の川崎は...

今よりも街の明かりがずっと少なく、たくさんの星が見えたよ。東の空には夏の三大角、南の空にあるのはさそり座だね。星座の星の位置は今と変わらないけれど、惑星の場所は毎年違うんだ。100年前の7、8月は木星や土星が見えたよ。

1986年

ハレー彗星の回帰

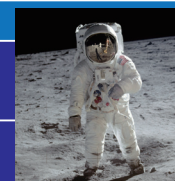
この年、ハレー彗星が76年ぶりに地球に接近しました。川崎市内からも撮影に成功。次の接近は2061年です。



当館撮影

1969年

アポロ11号
月面着陸



Credit: NASA

人類で初めて月を歩いたアームストロング船長は「1人の人間にとっては小さな1歩だが、人類にとっては偉大な1歩だ」という言葉を残しています。

2017年

ブラックホール
シャドウの撮影成功



©EHT

2010年

小惑星探査機
はやぶさ帰還

2024

2035年

川崎で部分日食
(北関東では皆既日食)

2024年

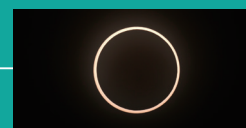
川崎市
市制100周年

2017年

川崎市人口150万人突破

2012年

市内で金環日食が
観測される



当館撮影

太陽の手前を月が横切り、日食メガネで観察するとリングのように見えました。生田緑地の日食観察会には、早朝から約1,000人が集まりました。

かわさき
宙と緑の科学館
リニューアルオープン



1982年

宮前区麻生区が誕生

1972年

川崎市が政令指定都市に
なり5区が誕生

1971年

川崎市青少年科学館開館

「川崎の子どもたちに満天の星を見せたい」との市民の願いを受けてプラネタリウム館が開館しました。



「レリビタキ」
かわさきぶりんの
一番の友だち



市制100周年記念
プラネタリウム番組

大好評

—全編生解説—

「かわさきの星空100年」

- 投影期間 開催中～令和6(2024)年7月31日(水)
- 場 所 かわさき宙と緑の科学館プラネタリウム
- 観 覧 料 一般……………400円
・高校生/大学生/
65才以上の方……………200円
・中学生以下……………無料



かわさき星空調査

はくちょう座を
観察しよう

お住まいの地域から、夏の夜空にはばたく【はくちょう座】を探し、1等星から5等星までの5つの星のうち、どの明るさの星まで見えるか数えて調査結果を報告しましょう!



はくちょう座の
詳しい観察方法は
こちら

- 調査期間 令和6(2024)年
8月24日(土)～9月6日(金)
- 観察場所 川崎市内どこでも
- 観察時間 20:00～22:00

はくちょう座



調査結果の報告はこちら▼

報告期間
令和6(2024)年
8月24日(土)～
9月13日(金)



お問合せは ▶▶▶ | かわさき宙と緑の科学館 | TEL: 044-922-4731